

協 議 会 だ よ り 第40号 (2013年7月1日)

発 行 越谷流通団地運営協議会 発行責任者 山崎由三郎 編集責任者 甲斐秀治
事務局 越谷市流通団地1丁目1番20号 協同組合 越谷卸センター TEL 048-989-4111

第24回通常総会開催 —平成24年度決算と25年度事業計画・予算案承認—

越谷流通団地運営協議会の第24回通常総会が、平成25年6月7日に新越谷駅近くの「砂場」にて会員総数122名のうち会員出席者37名、委任状出席者66名、合計103名により開催されました。

山崎由三郎会長の開会の挨拶に続いて、甲斐副会長が議長に指名され、平成24年度事業報告書及び収支決算報告書、平成25年度事業計画及び収支予算案並びに会費についての審議が行われ、いずれも原案通り承認可決されました。平成24年度決算と25年度事業計画・予算は下記のとおりです。

平成25年度の事業計画および予算では、流通業務地区内の交通安全対策は路上駐車対策、環境整備対策はゴミ対策を特に重点を置いて活動を展開する計画です。なかでも車からのポイ捨てによるゴミ対策として毎月シルバー人材センターに依頼して実施中の清掃には、今年度も厳しい予算の中から捻出して配分されています。また、本年度も引き続き「協議会だより」を発行し、会員への情報提供及び会員間の情報交流の場としての紙面の充実を図る予定です。その他定期健康診断、フォークリフト運転技能講習会の受付、越谷市民まつりの協賛などは従来どおり実施を予定しています。物流を取り巻く環境もたいへん厳しいものがありますので研修会を企画の予定です。さらに会員の有志による第2回ゴルフコンペ開催を予定しています。会員間の交流を深めるため、開催経費の一部が今年度予算に織り込まれました。

懇親会では活発に情報交換と交流が行われました

総会後の懇親会では、山崎 由三郎会長が挨拶、高橋 努越谷市長からは公務により出席できないためメッセージが託され、司会者が代読、尾ヶ井 勝越谷消防本部消防長の乾杯の音頭で懇親会が開催され、出席者の皆さんは、名刺交換や団地の諸問題、業界動向など活発な情報交換と和やかな交流が行われました。本年度も会員の皆様の協力をよろしくお願いいたします。

平成24年度収支決算報告書と平成25年度収支予算

収 入 の 部

科 目	平成 24 年度決算額	平成 25 年度予算額	摘 要
会 費	2,985,500 円	3,031,000 円	会費（決算121件、予算122件）
雑 収 入	14,019	1,000	広報配付手数料25年度廃止、利息
繰 越 金	898,789	923,417	
合 計	3,898,308	3,955,417	

支 出 の 部

科 目	平成 24 年度決算額	平成 25 年度予算額	摘 要
教育情報費	812,054 円	1,100,000 円	協賛金、協議会だより、研修会
福利厚生費	830,447	950,000	新・忘年会、ゴルフコンペ、会員名簿
事務委託費	600,000	600,000	事務委託費
会 議 費	225,470	300,000	総会、役員会、編集会議
環境対策費	495,000	550,000	道路周りの清掃費
消 耗 品 費	4,410	30,000	切手、名刺等
雑 費	7,510	20,000	資料印刷、振込料
予 備 費	0	405,417	予備費
次期繰越金	923,417	-	
合 計	3,898,308	3,955,417	

25～26年度の越谷流通団地運営協議会の役員の方々を紹介します

会 長	山崎由三郎	(協越谷卸センター 理事長)
副会長	齋藤 峰雄	(株)埼玉県東部流通センター 代表取締役)
副会長	甲斐 秀治	(埼玉県倉庫団地協) 専務理事)
副会長	斉藤 章	(アイ・エム・アイ(株) 内部監査室長)
副会長	立澤 勝美	(株)丸和運輸機関 取締役常務執行役員)
副会長	山崎 明	(大森機械工業(株) 取締役常務執行役員)
幹 事	淋代 純一	(株)住宅資材センター 取締役事業部長)
幹 事	野口 明雄	(株)野口商会 専務取締役)
幹 事	札幌 敏彦	(佐川急便(株) 店長)
幹 事	梅津 啓一	(株)拓洋 課長・所長)
幹 事	大久保健二	(株)ドリテック 取締役総務部長)
幹 事	松田 吉彦	(株)ヒューテックノオリン 執行役員支店長)
幹 事	浜野 東剛	(日本酒類販売(株) センター長)
幹 事	増田 政幸	(象印ユーザーサービス(株) 取締役センター長)
幹 事	丸山 正雄	(水戸工業(株) 取締役センター長)
幹 事	中村 正	(吉川自動車運送(株) 工場長)
幹 事	勝沼 晴夫	(小田原紙業(株) 総務部長)
監 事	浅子 徹二	(有)浅子ディリーフーズ 代表取締役)
監 事	植田 和夫	(西濃運輸(株) 支店長)

ちょっと一言

団地通勤バスの不正乗車は止めてください！

南越谷駅と流通団地内は、歩くと20分以上を要します。このため団地で働く人達のための通勤バスは、協同組合越谷卸センターが特定バス路線の許可を受けて、自主運営を行なっているものです。一般のバス会社等が経営している営業路線とは異なり、一種の貸切バスのような形で運行されているものです。このため、不特定多数の人のための車内での現金での切符の販売ができず、回数券や定期券の提示による利用形式になっているのです。バス会社のようにカードによる管理ができれば良いのですが、この路線しかありませんので、多額の経費をかけてこうした設備を設置するのも難しいところです。先日、バスの運転手が、定期券の年のところが見えないように提示する利用者に、ちゃんと見えるように提示を求めたところ、2年前に期限が切れた定期券でした。このような利用者がいますと、自主運営の団地通勤バスが成り立たなくなります。駅から毎日歩くのはたいへんです。不正乗車はやめて、回数券や定期券を購入して気持ちよく団地バスを利用しましょう。

団地内の道路は駐車場ではありません—節度を持って駐車しましょう

流通団地内の道路は、ほとんどが駐車禁止区域です。しかし、荷積み・荷降ろし待ちの車など流通団地での営業を考えるとあまり杓子定規に、運用するのも問題があるでしょう。交差点内やそのすぐ横に駐車しているケースでは、横断、左折、右折の時に極めて見通しが悪くなり、車が来ているのか分からないことが多く、ヒヤッとするのがよくあります。事故が起きてからでは遅いのです。ここに車が駐車していた場合には、自分ならどう思うか、もう少し想像力を働かせてください。気持ちよく働きましょう。

会員の動き・社名変更

会社名が変わりましたので よろしく

- 日本郵便(株)新越谷郵便局 (旧社名：郵便事業(株)新越谷支店 3ブロック)
- 三菱自動車ロジテクノ(株) (旧社名：三菱自動車部品販売(株) 10ブロック)